

特別講演会 **山内 一信** 名古屋大学名誉教授・東員病院院長

尾張医学の大先輩 伊藤圭介

その医学と本草学

伊藤圭介は、幕末から明治維新の政治的にも学術的にも大変革の時代に植物学、博物学、医学の流れの中に科学という新風を吹き込みました。



2016年1月27日 **水**

10:00-11:30

入場無料

予約不要



名古屋大学医学部

基礎研究棟

1階 会議室2

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館
名古屋市昭和区鶴舞町65
TEL 052-744-2505

特別講演会

尾張医学の大先輩 伊藤圭介—その医学と本草学

日時：2016年1月27日(水)10:00-11:30

会場：名古屋大学医学部基礎研究棟 1階 会議室2

山内 一信(名古屋大学名誉教授・東員病院院長)

岐阜県羽島市生まれ

医学博士。専門(病院管理学、医療情報学、循環器病学、医史学)

東員病院・認知症疾患医療センター院長

名古屋大学名誉教授、藤田保健衛生大学名誉教授

学術論文のほか、『入門医療経営情報学』、『Hospital End User Computing in Japan How to Use FileMaker Pro with Hospital Information Systems』などあり



伊藤圭介(1803-1901)は名古屋の生んだ本草学者、博物学者である。名古屋大学の前身となる仮医学校、仮病院の設立にかかわった人物であり、名古屋における医学・博物学の源流の一人と目される。

圭介の功績はきわめて多いが、強いてあげるとすれば①青年期における『泰西本草名疏』の刊行、②壮年期における蘭学の探求と普及活動、③熟年期における本草学の集大成と学術研究参加への鼓舞であろう。

名古屋のセンパイ

ミニ展示会



明治編

—名古屋大学全学同窓会大学支援事業①—

入場無料

2015 10. 21 WED-2016 1. 30 SAT

平日 9:00-20:00 1月5日-7日は9:00-17:00

土 13:00-17:00

休館日：日・祝日、12月27-31日、1月1日-4日

愛知医学校長で後の政治家 後藤新平、司馬遼太郎『胡蝶の夢』の主人公医師で語学の天才 司馬凌海、魯迅『藤野先生』の藤野巖九郎、皮膚科学者・詩人の太田正雄(木下杢太郎)、オリンピック競泳代表 清川正二、日本人唯一のダーウィン・メダル受賞者 木村資生、哲学者 梅原猛、小説家の郁達夫、阿部知二、藤枝静男、小谷剛... 愛知医学校から、旧制第八高等学校、名古屋帝国大学に至る名古屋大学の前身校に在学・在職した大先輩は多士済々です。

ミニ展示会「名古屋のセンパイ! 明治編」は、名古屋大学全学同窓会による大学支援事業の助成金により収集した「名古屋大学の大先輩」コレクションを展示公開するものです。

名古屋大学附属図書館医学部分館 2階入口ホール

問合せ先：名古屋大学附属図書館医学部分館

名古屋市昭和区鶴舞町65

TEL 052-744-2505